



非常にスリムでコンパクトな「アーキライン」をアーケードのリブに組み込むことで、光源を見せることなくフルカラーライトアップされた歩行者通路。
演出は、浜松市を表すブルーとグリーンに塗り分けられたコラボカラー

浜松まちなかライトアップ

地域の人びとを明るく元気にする 公民連携で実現したライトアップ

浜松市中央区の中心市街地（まちなか）では、商業施設や観光拠点をイルミネーションで結ぶ夜間景観ネットワークが構築されている。今回、ライトアップが行われたのは、JR浜松駅北口周辺。大正時代から浜松市と共に歩んできた株式会社電器堂が、2025年11月、JR浜松駅北口周辺のライトアップ設備を浜松市に寄贈。11月23日には、市民に向けた点灯式とセレモニーが挙行された。駅ビル「メイワン」と直結するアーケードのある歩行者通路は乗降客が往来する駅の主要動線。ここでは、非常にスリムでコンパクトな形状の

ライン型フルカラー照明器具「アーキライン」76台をアーケードのリブに組み込み、41台のDMXスポットライトで全体をDMX制御によりダイナミックに演出している。演出プログラムはストーリー性を重視し、春には「桜」を連想させるピンク、初夏には「新緑」をイメージさせる鮮やかなグリーンなど、季節ごとに色彩が緩やかに変遷する。また、年始やクリスマスなどの祝祭日だけでなく、アウェアネスカラー[※]によるライトアップも行い、周囲の公共施設や自治体と連携した社会的メッセージの発信装置としての役割も担う。今回のライトアップは、公民連携による地域貢献活動のモデルとして評価されている。

[※]アウェアネスカラー：様々な社会運動や疾患に対する支援・賛同の意思を示すために用いられるシンボルカラー



浜松まちなかライトアップ
■ライトアップ設備設置工事
所在地／静岡県浜松市中央区砂山町
施主／浜松市
企業寄付／株式会社電器堂
設備竣工／2025年11月



桜を想起させるピンクや新緑をイメージした
グリーンの「春」



レッドやオレンジ、イエローを組み合わせ
紅葉を表現している「秋」



パープルやホワイト、ブルーを組み合わせ
白夜を表現した「冬」



クリスマスなどのイベント時に使用される
「レインボーカラー」



地下1階からアーチ状の天井を見上げる



演出は特別な日のプログラム「レインボーカラー」



ライトアップされた「出世大名家康くん」（写真中央）



コラボカラーに染められた北口広場のモニュメント

主な納入設備

- ライトアップ演出用照明器具
- LEDフルカラー投光器
- DMXスポットライト
- コントローラ

WEBサイトで動画が
ご覧いただけます

